

令和 7 年 2 月現在

プロジェクトの詳細

開 庁	： 令和6年1月4日
人 口	： 229,387人
対象人員	： 1,224人
延べ床面積	： 24,261.15㎡
建物概要	： 本庁舎 地上6階 第2庁舎 地下1階地上6階
委託業務	： なし



市民課窓口

受付窓口をR型のハイカウンター仕様とすることで、左右の異なるカウンター窓口を案内しやすくする。



1階総合案内

来庁者への庁舎・窓口案内に対応する総合案内。二か所ある風除室からの来庁者に目が届くよう、L型のカウンターを配置。



記載台

車いす利用者用の記載台を併設することで、来庁者の利用しやすさに配慮。



オカムラHPでも
ご覧いただけます

令和6年1月、「人に優しく災害に強い 市民に親しまれる庁舎」を基本理念とした春日部市新庁舎が開庁しました。市庁舎は新築された、本庁舎・コミュニティ棟・レストラン棟と第二庁舎(既存棟)で構成されており、まちなかひろばを中心とした「まちのコモンスペース」も整備しました。

【まちのコモンスペース】

- ・まちなかひろば マルシェ・フリーマーケット・屋外イベント
- ・レストラン 飲食・休憩スペース
- ・ひだまりホール 発表会・展示会・講演会
- ・かすかべつ子ルーム お子様連れの読書・遊び場

この取り組みにより、市民は用事がなくても気軽に役所に立ち寄ることができ、子どもから大人まで幅広い世代が交流できる工夫により、まちの賑わいの創出につなげています。

また新庁舎は、これまで分散されていた市民窓口を集約することで市民の利便性に配慮しました。2階窓口前には、待合や繁忙期の臨時窓口など多目的に利用できるスペース「まちのリビング」を設置し、フレキシブルな運用が可能となっています。さらに職員が働く執務室には、自席以外にも業務ができる多機能型ワークスペースを配置、既存棟5階には、多様な打ち合わせスペースを配置した「ミーティングラボ」を整備することで、業務の効率化を図り、市民サービスの向上に繋がっています。

このような取組が評価され、2024年度グッドデザイン賞(主催:公益社団法人日本デザイン振興会)を受賞。「まちのコモンスペース」の設置による街と庁舎と市民が一体となった風景や、本庁舎の執務室を2階以上とし、浸水リスクの低減を図ったことなどが評価されています。



窓口

きめ細やかな対応ができるよう、来庁者の手続き内容に応じてハイカウンター・ローカウンター、ブース型カウンターを配置。



マイナンバー窓口

利用者のプライバシーに配慮したブース型カウンターを配置。



待合椅子

カウンターに正対しないよう待合椅子を配置。張り材を耐アルコール・耐次亜塩素酸ナトリウム仕様のビニルレザーを採用し、メンテナンス性に配慮。



キッズスペース

小さなお子様連れでも安心して手続きができるキッズスペース併設型窓口。



こども家庭センター

6室の相談室に親子交流スペースを併設し、こどもとその家庭、妊産婦に対する支援を行う拠点。



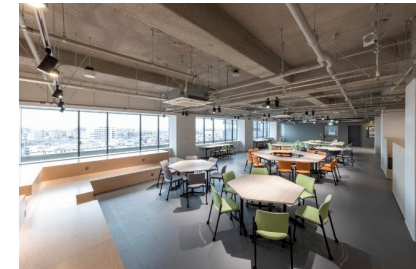
執務室

ユニバーサルレイアウトを採用し、異動時にはワゴンと手荷物の移動のみとし、ランニングコストの削減につなげる。



多目的スペース

籠り感のあるファミレスブース、フレキシブルに運用が可能なテーブル席を執務スペース内に配置し、会議室へ移動することなく打ち合わせが可能。

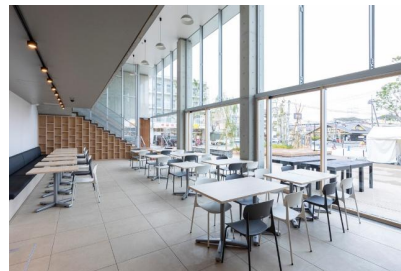


ミーティングラボ 職員や外部との打ち合わせに利用可能なスペース。フレキシブルな運用ができる可動テーブル席、ファミレスブース、窓側カウンター席など、内容に合わせて席を選択することができる。



議場

壁・天井に木材を利用し、市の特産品である桐箱をイメージ。議会の進行をより身近に感じていただけるように議場と傍聴席を同一フロアに配置。



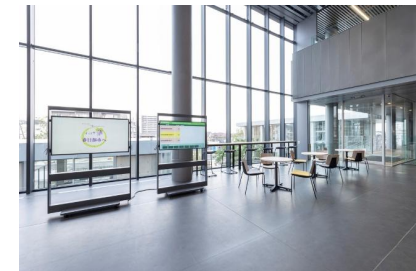
レストラン

用事がなくても役所を訪れ、市民の憩いとなる場を提供。窓面を開放し、屋外の「まちなかひろば」と一体利用したイベントなどにも活用可能。



かすかべっ子ルーム

子ども連れの家族が、気軽に立ち寄り、自由に読書や遊ぶことができるスペース。



まちのリビング

本庁舎2階に配置された来庁者がゆったりとくつろげるスペース。混雑時の待合や繁忙期の臨時窓口としても利用。